

1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、伊佐津川運動公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、合宿誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。また、来園者に憩いの場、レクリエーションの場を提供するため。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
所管課	生涯学習部スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	291,522				
利用料金(円)	44,708,141				
指定管理料(円)	87,870,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	330,000人	340,000人	291,522人	86%
自主事業の実施回数	100回(1200回延べ)	1200回	1,018回	85%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	44,708,141	人件費	71,238,763
指定管理料	87,870,000	維持管理費	26,289,713
事業収入	9,165,600	事業費	11,399,403
その他	7,228,377	その他	46,701,676
合計	148,972,118	合計	155,629,555
差額			△6,657,437

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	利用者数・自主事業数ともに目標には届かなかった。自主事業としては、新規事業としてニュースポーツも取り入れ幅広い方が参加得できる内容で実施され、市民のスポーツ・レクリエーション活動を行う施設として貢献いただいた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	施設の広報でSNSの活用や市民のサークル情報を施設で広報するなど、利用者数の増加に務め本市スポーツの普及・振興に資する運営を行われた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	スポーツ・レクリエーション活動の実施環境の提供や、各種スポーツ教室の実施や合宿利用のほか、憩いの場として公園施設の利用の提供が行われた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業は計画どおり実施された。 自主事業において、多世代向けのニュースポーツの他、新たなカテゴリーを導入するなど様々な教室を開催したが、教室参加者数を前年度比79.1%の8,241名に減少となり、目標数値には届かなかったものの計画になかった事業も実施された。 減少した原因を分析し、募集方法を工夫する中で各事業の参加者数の増加に期待する。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	市の人口が減少し、長期的には利用者数が減少傾向で推移する中、合宿利用の誘致や大会会場としての利用があり利用者数は令和5年度比で増加となった。市民のサークル情報の広報や自主事業において誰でも親しめるスポーツなど多様なメニューを用意し利用者増加に向けた取り組みを行われた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルも無く、利用者が増加する施設もあり、良好に管理運営されたものと考ええる。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	幅広いアンケートの実施（QRコード＋紙）など、現場において、意見・要望の把握に積極的に取り組み、アンケートで出た意見を施設運営にも反映された。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、随時市に報告され必要に応じ協議を行い、適切に対応された。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	柔軟なシフトコントロールや、業務の発注内容の見直し、省エネの取組、スタッフによる修繕などによる経費削減の取り組みにより、計画内の支出になるよう削減が図られた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	消耗品等について在庫管理から発注まで全施設を集中管理することで、経費の削減が図られた。
収入増加のための取組が行われたか	○	幅広い年代の多様なニーズに応える教室やイベントの開催、物販、広報等を実施している。 合宿誘致を市内宿泊業者とも連携し、市街利用者の獲得も図っている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	計画書に示された人件費の中で計画どおり事業の実施及び施設利用の向上に向けて取り組みが行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	HPや窓口などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	○	会計処理等に不備はなく、支出を計画内で行われているが、収入が計画に届いていないため、収入アップの取組に期待する。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	年間のスケジュール表を作成し漏れが無いよう適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	定期的な棚卸しを行い、台帳はデータ等により適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	体制整備やマニュアルの作成、研修の実施など安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	利用者アンケートから出た意見を運営に反映するなど、サービス向上・利用者増加に努められた。教室・イベントの開催においては、新規メニューを作成し、幅広い年代の方に参加いただけるよう改善が図られており、次年度以降も適宜見直しを行い、実施回数・参加者数ともに増加になるよう努めてほしい。	
経費削減	従業員のシフトコントロール、軽微な作業や点検の自主実施、備品管理や発注のシステム化など、自社のソフト・ハード両面の強みを活用して経費の節減に努められており、令和6年度事業においては計画内の支出となった。今後も引き続き、更なる経費の削減に努めてほしい。	
施設の維持・管理	スポーツ施設、公園施設ともに適切な維持管理が行われた。 点検マニュアルを活用した遊具の日常点検や施設の巡回を行い、迅速な修繕対応の実施や市への報告など施設利用者の安心・安全を第一に管理いただいている。 これからも、市との情報共有に努め、最小限の経費で効率的、効果的な維持管理運営に努めてほしい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.16点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・様々なスポーツが展開され、市民がふれあえるのは、とても良いことだが経費面が心配である。 ・高い利用者数を維持している。 ・人口が減少するなかで目標設定を高くする意欲は評価できる。 ・人口減少のなか、利用人数を増やす取り組みを考えてもらいたい。 ・「その他」の支出における内訳が明確でなく評価しにくい。 ・収入が計画を下回っているのに所管課の評価が「良」としていることは疑問。 ・収支の赤字改善の努力をされたい。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	年度	平均